

平成20年度

# 施設評価調書

施設の名称.....加増野ポーレポーレ

所管担当課.....産業振興課

平成20年7月

平成20年度	施設名(愛称名)	加増野ポーレポーレ	番号	81
--------	----------	-----------	----	----

## 施設の概要

1 施設名 (愛称名)	加増野ポーレポーレ		2 担当課 担当係	産業振興課 施設整備係	
3 所在地	下田市加増野 481 番地の 3		4 設置年月	平成 11 年 3 月 31 日	
5 総合計画の 位置付け	勢いと活力づくり	まちの活力づくり		産業間の連携	
	施 策 体 系	1 ~ 3 次産業の連携		地場消費の拡大・地場素材の活用	
	主 要 事 業	農林水産物加工処理施設運営事業(ポーレ・ポーレ)		地場産品の活用、特産品の開発	
6 設置目的	下田市の農林水産物の振興に資するため				
7 設置根拠	下田市農林水産物処理加工施設条例				
8 施設の概要	施設の概要	敷地面積	2,228.36 m <sup>2</sup>		
		構造	木造平屋建	建築面積 197.08 m <sup>2</sup> 床面積 197.08 m <sup>2</sup>	
	施設の概要	建物の種別 実習室 90.72 m <sup>2</sup> 、準備室 12.37 m <sup>2</sup> 、備品倉庫 9.90 m <sup>2</sup> 漬物製造室 9.93 m <sup>2</sup> 、味噌貯蔵室 9.93 m <sup>2</sup> 、味噌製造室 事務室 9.72 m <sup>2</sup> 、玄関ホール、廊下、洗面所・トイレ、その他 運動広場・ピザ窯			
		平成 11 年 4 月に山あいの加増野小学校跡地に都市生活では味わえない自然体験を満喫できる場所として改修された農林水産物処理加工施設です。 地元加増野区の管理により地域に密着した管理運営を行っている。 平成 19 年度事業の概要 味噌作り体験・そば打ち体験・石窯ピザ体験・こんにやく作り体験 まんじゅう作り体験等 (事業) <b>第4条</b> 加増野ポーレポーレは、次に掲げる事業の用に供するものとする。 (1) 農林水産物等の加工体験及び加工品販売等の提供に関すること。 (2) 地域の振興に関すること。 (3) 前2号に掲げるもののほか、市長が特に認めたもの			
	料 金 体 系	料金区分	(使用料) 第7条 加増野ポーレポーレの使用料は、無料とする。		
		主な料金 (自主事業)	そば打ち体験 1000 ~ 2500 円 味噌作り体験 1000 円 ~ まんじゅう作り体験 1000 円 石窯ピザ体験 1500 円 こんにやく作り体験 1000 円 等		
		減免内容			
		利用料金制度	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無		
	施設運営 方 法	直接運営			
		<input checked="" type="checkbox"/> 指定管理者制度	指定管理者	加増野区	
直接従事職員	一部委託		委託内容		
	下田市職員数 0 名 委託団体職員数 9 名				
9 市内の 類似施設	下田市所有				
	民間所有				

平成20年度	施設名(愛称名)	加増野ポーレポーレ	番号	81
--------	----------	-----------	----	----

10 取得費等の情報 (単位:円)	取得費及び財源内訳		平成19年度末残高			(備考) 減価償却の方法 ・定額法 ・残存価格1円 ・開始翌年から減価償却 ・耐用年数 22年(0.046) (h11からh33) 年間償却額 1,859,550円
	土地取得費	-	土地残高	-		
	建物取得費	40,425,000	建物減価償却後残高	23,689,050		
	財源内訳	45,180,000	実施設計委託	1,018,500		
	国補助金	22,590,000	工事管理委託	493,500		
	県費補助金	9,000,000	建築工事費	38,913,000		
	市債	0	建設事業費合計	40,425,000		
	一般財源	9,687,000	備品購入費	4,755,000		
寄附金等	3,903,000	市債残高	0			
物品(*万円以上)		物品減価償却後残高				
11 年間経費等推移 (単位:円)	区 分		H17年度決算	H18年度決算	H19年度決算	H20年度予算
	収入	占用料	850	1,900	1,900	1,000
	収入合計		850	1,900	1,900	1,000
	支出	11節 修繕料	-	-	199,500	200,000
		12節 役務費	-	-	17,300	18,000
		13節 委託料	-	-	0	0
		指定管理料	-	-	0	0
	支出合計		0	0	216,800	218,000
	職員人件費					
	減価償却費(建築工事)		1,859,550	1,859,550	1,859,550	1,859,550
	減価償却費(物品)					
	市債利子		0	0	0	0
	下田市負担年間総経費		1,859,550	1,859,550	2,076,350	2,077,550
	備考	<p>人件費は、実額を算出記載(正職員・嘱託職員等の人件費総額)担当者関与割合 - %  減価償却費の算定  建設事業費 40,425,000円 ÷ 償却年数 22年(0.046) = 1,859,550円  うち市負担分にかかる年間償却額  一般財源 9,687,000円 ÷ 22年 = 440,318円/年</p>				
12 施設利用状況等の推移	利用状況	利用年度	H17年度決算	H18年度決算	H19年度決算	H20年度
		利用者数	3,045人	3,340人	3,683人	3,870人
		参考:利用単位当たり市負担額	611円	557円	564円	538円
		算出方法:11欄の「下田市負担年間総経費」を利用者数で除する。				
	休館日	1月1日から1月4日まで、毎火曜日				
使用時間	午前9時30分から午後3時30分まで					
13 利用者満足度調査	実施の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無		調査結果	施設利用料金は「安い」、接客態度は「良い」 最も利用が多いのは20歳台で、全体の約18%を占める。 利用者は県外54%、県内32%、市内14%	
	直近の実施時期	随時				
	調査手法	利用者アンケート				
	調査数	74枚				

平成20年度	施設名(愛称名)	加増野ポーレポーレ	番号	81
--------	----------	-----------	----	----

(参考資料)

加増野区決算書

(単位:円)

区 分		H17 年度決算	H18 年度決算	H19 年度決算	H20 年度予算	
加 増 野 区	収入					
	A. そば体験	1,841,600	1,995,710	2,167,150	2,284,000	
	B. 食事	1,312,125	1,332,850	1,847,690	1,599,000	
	C. みそ販売	1,219,573	1,113,362	1,127,998	1,211,000	
	D. ピザ販売	105,200	128,600	147,300	163,000	
	E. ピザ体験	170,000	411,200	354,100	511,000	
	F. その他体験	121,500	529,300	337,400	601,000	
	G. 加工品販売	加工品	274,565	405,275	784,462	1,839,000
		菓子	66,000	51,900	63,450	
		パン	27,825	108,315	86,908	
		もち	136,850	307,005	535,330	
		飲み物	75,600	128,860	125,010	
		そば粉	59,400	42,670	63,330	
		その他	260,969	256,609	218,605	
雑収入		14,200	23,930	49,842		
出張販売	252,820	381,320	3,114			
H. 受託品販売		31,180				
I. その他	区補助他	164,434	150,000	150,000	150,000	
収入合計		6,102,661	7,398,086	8,061,689	8,358,000	
支出	人件費	3,872,448	4,404,582	4,796,421	5,115,000	
	交通費			248,720		
	通信運搬費	107,409	116,329	128,010	123,000	
	電気代	257,703	272,863	302,061	293,000	
	原材料費	1,269,781	1,544,581	1,460,824	1,744,000	
	消耗品費	302,475	322,758	369,043	304,000	
	租税公課費		5,000	3,000	5,000	
	仕入	33,498	91,126	77,220	105,000	
	保険料	13,920	42,380	36,390	46,000	
	謝礼・福利	3,000	95,484	47,050	61,000	
	広告宣伝費	17,640	20,640	27,640	22,000	
	燃料費	113,669	129,665	169,361	141,000	
	修繕費				110,000	
	会議費				60,000	
	その他	50,970	38,624	120,254	41,000	
	備品購入費	13,110	82,365	112,544	91,000	
支出合計		6,055,623	7,166,397	7,898,538	8,261,000	
備考						

平成20年度	施設名(愛称名)	加増野ポーレポーレ	番号	81
--------	----------	-----------	----	----

## 業績評価

### 1 目標達成度

目標達成度	区分	単位	H17年度	H18年度	H19年度	H20年度
	年間加工品販売額の目標値	円	8,850,000	8,850,000	8,850,000	8,850,000
	〃 の実績	円	6,102,661	7,398,086	8,061,689	
	目標達成度	%	68.89	83.59	91.09	
選択した指標	成果指標 <input checked="" type="checkbox"/> 成果指標の代替指標					
指標選択の理由	目標達成度を選定する指標として同指標を選択した理由 下田市の農林水産業の振興を計る指標を、本施設の管理運営面から見いだすことが困難である。本施設においての加工品販売額を成果指標の代替指標として、目標達成度を計ることとした。					
指標設定の考え方	区分	指標名	指標の考え方			
	成果指標	農林水産業の振興				
	代替指標	年間加工品販売額	事業の中心的な位置付けとして行っており、代替指標としては適当である。			
年間加工体験者数		同上				

(参考)

活動指標(施設の目的を達成するための具体的な手段におけるそれぞれの達成度合を把握できる指標)

活動指標		区分	単位	H17年度	H18年度	H19年度	H20年度	
活動指標	目標指標	年間加工体験者数	目標値	人	2,588人	3,200人	3,510人	3,870人
			実績値	人	3,045人	3,340人	3,683人	
			達成度	%	117.7%	104.4%	105.9%	
	目標指標の考え方	事業の中心的な位置付けとして行っており、代替指標としては適当である。						
活動指標	目標指標	食事メニュー売上高	目標値	円	1,770,000	1,770,000	1,770,000	1,940,000
			実績値	円	1,312,125	1,332,850	1,847,690	
			達成度	%	74.13	75.3	104.39	
	目標指標の考え方	うどん・そば・ピザの食事提供を行っており、活動指標としては適当である。年間加工品販売額の目標値の20%とする。						
活動指標	目標指標		目標値					
			実績値					
			達成度					
	目標指標の考え方							

平成20年度	施設名(愛称名)	加増野ポーレポーレ	番号	81
--------	----------	-----------	----	----

## 2 効率性

効率性	区分	説明	単位	H17年度	H18年度	H19年度	H20年度
	施設での年間加工品販売額	みそ・パン・餅等の年間販売額	円	6,102,661	7,398,086	8,061,689	8,358,000
	加工品販売に係る年間経費	施設の事業費・運営費・原材料費および人件費の合計額	円	6,055,623	7,166,397	7,898,538	8,261,000
	加工品販売に係る経費割合	÷	%	99.2	96.9	98.0	98.8
年間加工品販売額 考え方 年間加工品販売額について用いた指標について記載してください。	加工品販売額に係る経費割合を計算することにより年度間の効率性の比較が可能となる。販売額の増が、経費の割合も同時に下げないように常に見直しを図っていきたい。	備考 コスト評価項目に関して留意事項、補足項目等があれば記載してください。	加工品販売にかかる費用とそれ以外の費用を区分していないため総収益と総費用で計算する。				

その他の指標		区分	単位	H17年度	H18年度	H19年度	H20年度
目標指数	目標指数	目標値					
		実績値					
		達成度					
	目標指数の考え方						
目標指数	目標指数	目標値					
		実績値					
		達成度					
	目標指数の考え方						
目標指数	目標指数	目標値					
		実績値					
		達成度					
	目標指数の考え方						

受益者負担の適正性	区分	説明	単位	H17年度	H18年度	H19年度
	有料部分の年間経費	使用料等を徴収する部分の年間経費	円	6,055,623	7,166,397	7,898,538
	受益者負担額	施設の本来の目的による使用料等の年間総額	円	3,445,225	4,269,060	4,706,340
	受益者負担比率	÷	%	56.9	59.6	59.6
	補正受益者負担額	減免者より正規の料金を徴収したと仮定した場合の受益者負担額	円	3,445,225	4,269,060	4,706,340
	補正受益者負担比率	÷	%	56.9	59.6	59.6
	備考	は年間費用、 は体験等の施設利用者の利用料金とする。(A+B+E+F)				

平成20年度	施設名(愛称名)	加増野ポーレポーレ	番号	81
--------	----------	-----------	----	----

## 施設の現状分析

判断視点		項目	施設の状況
施設方向性の判断視点	施設の設置目的が時代のニーズに適合しているか	設置目的に沿った利用がされているか	<p>農林水産業の振興に資するために建設された加工施設であり、地場の農産物を利用したもち、味噌、パン等の加工品販売やそば打ち体験をはじめとする各種加工体験も行っている。</p> <p>中山間地域の振興と地場野菜による食品加工販売を目的とした設置目的に沿った利用が図られている。</p>
		住民の福祉の向上に対し、どのように寄与しているか	<p>学校関係者や一般客に農業体験、食品加工体験を提供、地場野菜の加工品販売等住民ニズ適合している。</p>
		将来に亘り必要な施設として住民の期待を高めているか	<p>地域農産物の販売と地域住民の就業機会の拡大に貢献している。</p> <p>売上も年々増加しており将来に亘り、十分に期待を高めている。</p>
	施設が十分に利用されているか	施設の修繕計画はどのようなものか	<p>平成10年度により施設が完成し9年経過している。外壁等の塗装部分の塗替えを計画する必要がある。</p>
		施設の運営方法と利用者の情報交換はどのようにされてきたのか	<p>施設の運営は指定管理者である加増野区が行っている。利用者への情報提供はインターネットにホームページを作成。また、Eメールにより情報交換を行っている。</p>
	施設の管理運営主体が施設の利用目的から判断して適切であるか	同様の施設の設置がされているなど競合していないか	<p>そばやピザ等の加工品販売は競合する施設はあるが、そば打ち体験等体験メニューを提供する施設は他にないため問題ない。</p>
		民間においても十分可能な施設なのか	<p>中山間地域の活性化、地場野菜の利用等の設置目的を実行するためには現在の管理運営状況が適している。</p> <p>加増野地区の住民による地域振興が目的であるため、少ない日当にてがんばっている状況であり、民間での管理は妥当でない。</p>
	使用料、利用者数、支出額、市負担額が適正であるか	使用料の算定に当たり実費経費と住民福祉の向上の比較はどうか	<p>適当である。</p>
		同種施設との比較、近隣施設との比較はどうか	<p>アンケートの評価では「安い」との評価を受けており適当である。</p>
		計画上の利用者数と実際の利用者数の違いがどうなっているのか	<p>平成19年度の施設利用者数は目標値の142.3%となっており営業努力が見られる。平成20年度は19年度実績の5%増の3,870人を計画している。</p>
		施設の耐用年数は何年有るのか	<p>木造22年・・・平成10年度建設9年経過。</p>
		施設の今後の維持経費の算定はどうか	<p>特に問題なし。</p>

平成20年度	施設名(愛称名)	加増野ポーレポーレ	番号	81
--------	----------	-----------	----	----

## 施設の現状分析

判断視点項目			施設の状況
行政規模からの判断視点	施設の管理運営に係る経費が財政規模からして適正か	施設の管理運営の経費支出が下田市の行政経営からして妥当なのか	平成19年度217千円の支出を行っている。修繕等の経費はリスク分担により行われるため問題ない。
		現行の管理運営を今後も継続していくことが適切か	指定管理者による管理運営は適切である。
	地域的な施設配置のバランスは適正か	旧町村単位における施設配置の見直しはされているのか	適正
		施設の統廃合が可能な施設はないのか	特になし
その他		老朽化と施設維持の比較から改築廃止をどう考えていくのか	新築のため特になし
		地域、民間に譲渡できないのか	施設の設置目的が地域に限定されているため地域への譲渡は可能である。 しかし、新山村振興の補助事業にて建設されている点を考慮する必要がある。
		施設の目的の範囲を拡大することにより統廃合可能にならないか	不可



平成20年度	施設名(愛称名)	加増野ポーレポーレ	番号	81
--------	----------	-----------	----	----

## 見直しの方策

評価種別		改善・見直しの方策案
市民と行政の役割分担評価	行政関与の妥当性	第3次下田市総合計画において、生産・加工・流通体制の整備があり地域資源の発掘を行うことが掲げられ、本施設では地場の素材を利用した地場製品の開発・普及に努めることとしている。
	受益者負担の妥当性	そば打ち体験等施設利用者に1,000~2,500円の利用料金を徴収している。
	実施主体の妥当性	地域密着の施設であり、加増野区が指定管理者となって管理運営を行っている。地域の活性化、地場産品活用を加増野区が積極的に行っているため今後も現体制を維持発展させたい。
	廃止・休止・縮小・外部委託化・民営化などの方向性	施設の設置目的を考慮し現指定管理者で運営を継続していきたい。今後、民営化等の方向も検討する必要がある。
業績評価	利用者数等の目標数値及び利用者向上策など	加工品販売の販路拡大、体験加工希望者の増大を積極的に進めていきたい。口コミでのPRが中心となっている。今後は、インターネット等の利用も図りたい。
	執行方法の見直しなどの効率化のための目標及び方策	地域の地場産品の活用を図れるような組織・体制づくりを進めていきたい。
	受益者負担の現状及び適正化のための方策など	
アンケート調査等	市民アンケート調査等の結果	施設利用者にアンケート調査を行っている。アンケート結果によると料金は「普通」で接客態度は「良好」である。施設管理については「指定管理者」、「直営」どちらでもかまわないとなっている。
サービス面等	サービスの迅速性や利便性など	
	利用者満足度の観点からのサービス提供の質の改善方法	料金、接客態度は満足行くサービスとなっている。利用者のリピート率は32%程あり、繰り返し利用する傾向にある。市外から多くの利用があり、利用者の満足度は高い。

## 平成19年度 事業内容及び見直し事項

事業内容	食品加工体験(そば、ピザ、その他)、加工品販売(パン、もち、そば粉、その他)
見直し事項	なし

平成20年度

施設名(愛称名) 加増野ポーレポーレ

番号 81

### 施設懸案事項

No.	懸案事項	改善経費	備考
1	安全な飲料水の安定確保	未調査	現在山水で雨天時濁りあり
2	屋根・外壁塗替え	100万円	
3	体験場の水場の拡大	50万円	
4	麵打ち場の増設	50万円	
5	水道滅菌施設交換修理	20万円	
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			
16			

### 今後の方向性

今後の方向性	充実 効率化等による見直し <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続等 縮小等による見直し 統廃合を進める	(具体的な内容) 利用者数、売上の増加を考慮すると現状のまま継続していくのが良い。 施設の現状を評価すると今後とも現指定管理者による管理運営を期待したい。 将来的には地区への委譲も検討する必要がある。
--------	--	---